

『1兆8328億円の平成30年度予算。』

県税の使い方を考える』

神奈川県議会議員 石川ひろのり

現在、県議会では平成30年度予算審議が行われてい

ます。約800億円の財源

不足が見込まれ、危機的状

況であると昨秋発表されま

したが、県税等の税収増

減収補てん債の発行などで

税源不足対策が行われ、前

年並みの予算が確保されま

した。

補助金の在り方

前回の県政報告で、ある

環境系財団に20年間で27億

円もの補助金が拠出されて

いたことを報告しましたが、

同じ財団に別項目で36億円

もの補助があったことが質

疑で明らかになりました。

つまり一財団に20年間で約

63億円もの補助金だったの
です。私は、3月の委員会

の中で「この財団は20年前

県が誘致した事業であるこ

とは理解をするが、県予算

が厳しい中、県民還元の内

果が明確に答えられない事

業であれば、補助の見直し

を改めて検討する時期であ

る」と強く指摘しました。

里地里山・ 都市農業対策

麻生区民会議のアンケ

トで、麻生区の魅力は「緑

の多さ」というご意見が多

く寄せられています。県の

選定する里地里山は20地

域、約1万3千㎡で23の団

体と協定を結んでいます。

所としての機能や水害への

対策、田園風景を守ること

や小学生などの環境学習の

場といった農業以外の重要

な役割を担っていると考え

ています。環境系の財団に

毎年3億円弱拠出しながら

も、県民還元の結果が明確

でないのであれば、この里

地里山保全、都市農業対策

にこそしっかりと予算をつ

けるべきと主張をしていま

す。今後も、県税の使い道

について提案をして参りま

す。ぜひ、皆さんのご意見

・ご要望をお寄せください。

援を受けながら農作業に取

り組める農園にする事業を

始めます。

私は、生産緑地に限らず、

都市で里地里山や農地を残

すことは、災害時の避難場



石川ひろのり

1968年11月3日生まれ／横浜市出身
／サラリーマンを約20年経験／参議
院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろ
ふみ秘書など経験／麻生区在住

石川ひろのり 事務所

麻生区百合丘1-5-4
米山ビル202

☎044-455-6611

☎044-455-6614

http://www.hiro-ishikawa.jp